

感染症情報 3月16日～22日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	358例(堺市	14例)
②溶連菌感染症	236例(堺市	18例)
③突発性発疹	51例(堺市	2例)
④咽頭結膜熱	48例(堺市	7例)
⑤RSウイルス感染症	44例(堺市	1例)

府下インフルエンザ定点300医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 306例(堺市 17例)

が報告された。感染症報告数は前週比26.7%減の827件であった。

感染性胃腸炎は府下で前週と比較して28%減、堺市では前週と同数であった。溶連菌感染症は府下で36%減、堺市で43例→18例の58%減は定点当たり2.26→0.95であった。咽頭結膜熱が府下で9%減、堺市で0例→7例であった。RSウイルス感染症は府下で4%減、堺市で前週・今回とも1例であった。

インフルエンザは府下で60%減の306例で、定点あたりは2.53→1.02となり、堺市の17例は75%減、定点あたりは2.38→0.59であった。

指定感染症：大阪府下の新型コロナウイルス感染症は3月16日から22日までに24例増えて、累計133例となっていた。大阪府では1月26日から3月25日まで延べ2,668件を検査して149件陽性(単純陽性率5.6%)。堺市では3月16日から22日に27検査中、1例が陽性であった。堺市で2月6日から3月22日までの170検査中、6例が陽性であった(単純陽性率3.5%)。

麻疹の報告はなかったが、風疹が大阪府で1例の報告があり、年始からの累計は5例となった。